

平成 30 年 12 月 10 日

GA 委員会

宇都宮航空連絡会報告書

標題の件につき、下記の通りご報告いたします。

記

出席者 東日本支部長、GA 委員会

日時 平成 30 年 12 月 6 日 14:00 – 17:00

場所 陸上自衛隊北宇都宮駐屯地

飛行隊より宇都宮飛行場の概要について発表

1 飛行場の沿革

昭和 19 年中島飛行機の飛行場として発足以来、旧陸軍飛行場から自衛隊の飛行場へ、更に空自、海自、陸自へと三自衛隊が使用、いずれも、若い操縦士道場としての役割を果たしてきている。

2 飛行場施設の状況

レーダー局舎、滑走路 1700 x 45、(株) SUBARU (富士重工)、県警航空隊、管制塔、TACAN 局舎施設の説明。また NDB が約 3 km 南の位置にある。

3 場周経路・離脱経路

管制圏の図面により、各経路の説明、夜間飛行時は、騒音苦情対策のため、高度を 500ft 上げて飛行してする。

4 管制回数・騒音苦情件数及び苦情地点

平成 29 年度 駐屯地基地例

基地	管制回数	基地	騒音苦情件数
宇都宮	41002	立川	246
明野	34184	宇都宮	154
札幌	32001	札幌	50
木更津	31346	明野	41
立川	15136	霞目	40

* 宇都宮の前年度騒音苦情件数は、265 件で大幅に減少、騒音地点はパターン内で 154 件中特定者は 75 件

5 宇都宮飛行場の特性

- (1) 陸上自衛隊のヘリコプターパイロット養成機関 宇都宮校は陸上航空操縦士養成のメッカと呼ばれている。
- (2) 高性能の多用途ヘリ UH-60 を装備する実働部隊が在籍
- (3) 列島を縦断する中継地点としての役割を持つ
- (4) 公共機関・民間会社等の航空機が空域を恒常的に運航

6 宇都宮飛行場管制圏を飛行する際の注意事項

- (1) 確実な運航予定の申請・通報を行うこと
- (2) 管制（レーダー・タワー）との確実なコンタクト・位置通報

7 情報提供のお願い

- ・宇都宮進入管制区周辺における飛行
- ・航空機の航行に影響を及ぼす可能性のある行為等に関する情報は下記へ
→ 運航事務所 028-658-2151(内線 212)

管制業務について、東部方面管制気象隊第4派遣隊

- 1 管制業務 月～金 8時30分～17時まで（祝祭日、年末年始の休日を除く）ただし、その他の時間であっても1時間以上前に要求があった場合は運用する。
- 2 管制圏及び進入・離脱経路、計器各方式、GCA 進入方式等、管制圏の図面により解説

参加団体からの発表

- 1 **スカイダイブ藤岡** 渡良瀬遊水地 離着陸場 N36° 15' 10" E139° 40' 50" で土日祭日火曜・木曜パラシュート・ジャンプ、その他熱気球、マイクロライトが飛行している。パラシュート降下には現在、C208 キャラバンを使用（JA8893 わたらせローカル）、12,500ft から降下、5500ft～3000ft でパラシュートを開く。Tel. 0282-62-5390 or 090-8490-1250
- 2 **栃木県消防防災航空隊** 運用概要 芳賀町 栃木ヘリポートで、アグスタ AW139 を運用 隊員の操縦士・整備士は本田航空より派遣されている。
- 3 **(株) SUBARU 航空宇宙カンパニー** 飛行安全の取組事例として、飛行安全キャンペーン「朝ビラ」の実施、飛行安全パトロール FOD 防止活動（Foreign Object Damage, FO-異物残置）を実施。

要旨発表終了後、1班と2班に分かれ、研修・見学（参加者 33名）

- 1 格納庫にて練習機 TH-480B 多用途ヘリ UH-1J の実機研修
- 2 管制塔及び気象室見学
- 3 シュミレーター TH-480B 体験搭乗



3名1組で、飛行場周辺一周、練習機とはいえ420HPタービン機で貴重な体験をさせていただきました。

以上

添付書類：写真3枚



上：練習機 ENSTROM TH-480B

中：格納庫 TH-480B 数機

下：SIM TH-480B